

スポーツの成長産業化に向けた 経済産業省における取組

経済産業省
令和2年2月5日

1. 北海道経済産業局の取組

スポーツ関連ビジネスの創出 ～SpOPla北海道～

事業概要

- 本事業では、北海道が強みを有するIT・コンテンツ、食・観光、ヘルスケア等の多様な産業と「スポーツ」を融合させ、地域における新たなビジネスやサービスの創出を図るため、支援機関や異業種から成るプラットフォームにおいてビジネスマッチングやテクノロジーの発信・実証等を行い、スポーツの魅力や地域の稼ぐ力の向上を実現する。

ポテンシャル (強み)

- 道内には多様なプロスポーツ球団が存在する。北海道の強みである食・観光やITテクノロジーや、付加価値の高いヘルスケアサービス等との融合により、新たなビジネス創出の素地を有している。
- 北海道経済産業局と連携しスポーツ関連ビジネスを促進するプラットフォーム「**SpOPla北海道**」を2019年3月に設立。「北海道スポーツ関連産業創出プラン」策定において、既に事業化が期待される13プロジェクトを発掘。

【事業実施体制】

スポーツデータバンク(株)

- プロジェクトマネージャーの派遣
- プロジェクト組成、実証支援 等

北海道ヘルスケア産業振興協議会

- 協議会の研究会事業との連携
- ヘルスケア関連企業の参加促進

(株)北海道二十一世紀総合研究所 (事業管理機関)

- 当事業全体の運営管理や関係者・関係事業者の相互調整
- 連携支援機関へのつなぎ (ワンストップ窓口)

北広島商会 / (公財) 北海道科学技術総合振興センター / (一社) さっぽろ産業振興財団
(一社) 旭川産業創造プラザ / (公財) とかち財団 / (公財) 釧路根室圏産業技術振興センター
(社) 北見工業技術センター / (公財) 函館地域産業振興財団 / 国立大学法人北見工業大学
北海道教育大学岩見沢校 / 北海道ハイテクノロジー専門学校 / 北翔大学 / NPO法人東北海道ス
ポーツコミッション / (一社) 北海道eスポーツ協会 / (一財) さっぽろ健康スポーツ財団 / (一財) 釧路
市スポーツ振興財団

- 取引先や会員企業の紹介
- 研究開発・事業化支援
- 新規プロジェクトのファイナンス検討
- イベント企画等の協業
- 地方自治体との連携促進

【事業計画】

1. プラットフォーム機能の整備を通じた支援機関や専門家による連携支援体制の強化・構築
2. プロジェクト組成やビジネス化に向けたコーディネート支援
 - ◆ プロスポーツ等が触媒となる地域企業や自治体の課題解決
 - ◆ スポーツの魅力を高めるIT・コンテンツテクノロジーとの融合
 - ◆ スポーツをハブとしたヘルスケア産業創出プロジェクト
 - ◆ 地域資源を活用したアウトドア・フィットネスによる集客交流
 - ◆ スポーツコミッション機能を生かした地域活性化
 - ◆ 広域連携によるインバウンド観光や食の海外展開促進
3. スポーツ・オープン・イノベーションによる効果的なビジネス創出手法の検討・試行及び支援ノウハウの確立
4. スポーツビジネス創出促進のためのイベント開催及び情報発信

2. 中部経済産業局の取組

～スポーツテックシンポジウム及びピッチイベント開催によるネットワーク形成～

概要

- スポーツテック企業・スタートアップ企業と中部管内に拠点を置くBリーグのB1・B2チームとの協同により、各チームの魅力を高め、ファンを増やすことを目的に、アリーナを中心とした街づくり・地域活性化の観点も交え、シンポジウム及びピッチイベント等を開催するとともにネットワーク形成を支援する。

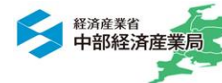
ポテンシャル (強み)

- Bリーグは今年度4シーズン目を迎える中、地域との密着やエンターテインメント性の高い演出の提供等により、他チームを上回る勢いでファン数を増やしているチームが存在。
- 自チームの飛躍に向け意欲の高い経営者と、チーム課題解決への提案に意欲的な企業、両者を取り持つ意欲の高いコーディネーターの存在により、前向きな交流が生まれる気運がある。
- 愛知県内でも一部で新アリーナ設立の構想があり、新アリーナがもたらす新たな魅力を生かしたスポーツの推進を図ろうとしている盛り上がりがある。

【1】提案企業の募集 (夏～秋)

本事業の目的を理解し、Bリーグの各チーム※の課題解決について提案を行いたい企業の募集、選考。

- ※B1 シーホース三河 (愛知県刈谷市)
名古屋ダイヤモンドドルフィンズ (名古屋市)
三遠ネオフェニックス (愛知県豊橋市)
- B2 豊通ファイティングイーグルス名古屋 (名古屋市)



【2】スポーツテックシンポジウムの開催

日時：令和元年9月15日(日) 13:30～15:30 (Bリーグ アーリーカップ 併催)

場所：ウイングアリーナ刈谷 会議室

- 内容：①開会挨拶 (中部経済産業局長)
②基調講演 「B.LEAGUEの挑戦」(大河 Bリーグチェアマン)
③各チーム代表より、経営方針や取組、スポーツと新技術の融合等
CO-Work に向けた現場の期待、スポンサー企業との付合い、方向性、
課題感等をプレゼン (各チーム15分)
④パネルディスカッション (藤田氏、上林氏、上野氏)
⑤試合観戦及び意見交換 16:30～

参加人数：60名



【3】B.LEAGUE × Start Up Pitchの開催

日時：令和元年11月5日(火) 14:00～17:00

場所：あずさ監査法人名古屋事務所 セミナールーム

内容：各チームの魅力向上に資するような提案のプレゼン及び優秀賞の表彰
参加人数：83名



■コーディネーター

・藤田豪氏(MTG Ventures代表/中部ニュービジネス協議会運営委員等)

■シンポジウム パネリスト/ピッチイベント 審査アドバイザー

・上林功氏 (スポーツファシリティ研究所代表/追手門大学准教授)

・上野直彦氏 (AGI Sports Management (株) 代表取締役/スポーツジャーナリスト)

3. 沖縄総合事務局の取組

事業概要

- 平成29、30年度に実施した沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター形成事業により、スポーツ・ヘルスケア関連産業分野における産学金官の顔の見えるネットワークが形成され、当該ネットワークに参画する企業間連携や産学連携による研究会等を通して新たなビジネスモデルが誕生した。
- 平成31年度は、会員間ネットワークの拡充・深化を図る支援を行う。具体的には、「新たな観光需要の取込」、「スポーツコンテンツの県外・海外輸出」及び「ビジネスマッチング強化」を軸に支援機関との連携を強化しながら、各プロジェクト自体の自立化にも寄与し、地域経済を牽引する企業群を育てると共に、スポーツ・ヘルスケア関連産業を、観光、ITに次ぐ沖縄県の基幹産業の一つに成長させることを目指す。

ポテンシャル (強み)

- 過去の取組により、沖縄が持つポテンシャル（自然、気候、リゾート感）がスポーツ・ヘルスケア事業との親和性が高いことが実証された。また、アジアに近いという地の利を活かし、スポーツ・ヘルスケアコンテンツの海外展開も高い事業性を有する。
- 事業管理機関は行政や民間の受託事業(年間20件超)の実績や企業ネットワーク（県内会員50社以上）を有し、他の支援機関との太いパイプも持つ。また、協議会に参画する支援機関の協力も仰ぎながら、各企業を多面的重層的に支援していくことが可能である。

事業実施体制図

支援機関

JETRO沖縄

- ・海外情報提供
- ・海外進出支援

中小機構沖縄

- ・商品開発支援
- ・販路開拓支援
- ・ビジネス支援

沖縄県産業振興 公社

- ・経営／創業相談
- ・専門家派遣他

沖縄県保健医療 福祉事業団

- ・自媒体での紹介
- ・プロジェクト共同企画

協議会に参画する支援機関等



■会員組織数

132 組織

(2019. 11. 25時点)

事業管理機関

BLUEMOON PARTNERS ブルームーンパートナーズ 株式会社

- ・運営会議、研究会等の開催
- ・プロジェクト進行管理
- ・県外/海外進出支援
- ・企業のハンズオン支援
- ・連携支援機関等へのつなぎ

県内外
金融機関

- ・資金調達に
関する支援

琉球大学

- ・スポーツ・ヘル
スケアにおける
技術支援

沖縄県・
各市町村

- ・地域資源の活
用関連支援

取組内容

①新たなツーリズムの可能性検討 (外需取り込み)

- 金武町スポーツ・ヘルスケア事業化プロジェクトの継続支援



※昨年度のモニターツアーの様子

- アマチュアターゲットの大会
ツーリズム企画

②スポーツコンテンツの県外・ 海外輸出

- Okinawa SS Project
※SSは、Sports Sustainableの略。
- 沖縄スポーツビジネスの海外輸出
サポート 「Okinawa Sports
EXPANSION SUPPORT」



※支援対象企業のアジアでの取組

③広域連携 (中国地方・北海道・九州)

④ビジネスマッチング強化

⑤支援機関同士のネットワーク構築

⑥スポーツヘルスケアサイエンス の拠点化に向けた勉強会 (仮)

4. 中国経済産業局の取組

～中国地域の広域プロスポーツ連携ネットワークを活用した中国地域スポーツ関連産業創出プロジェクト～

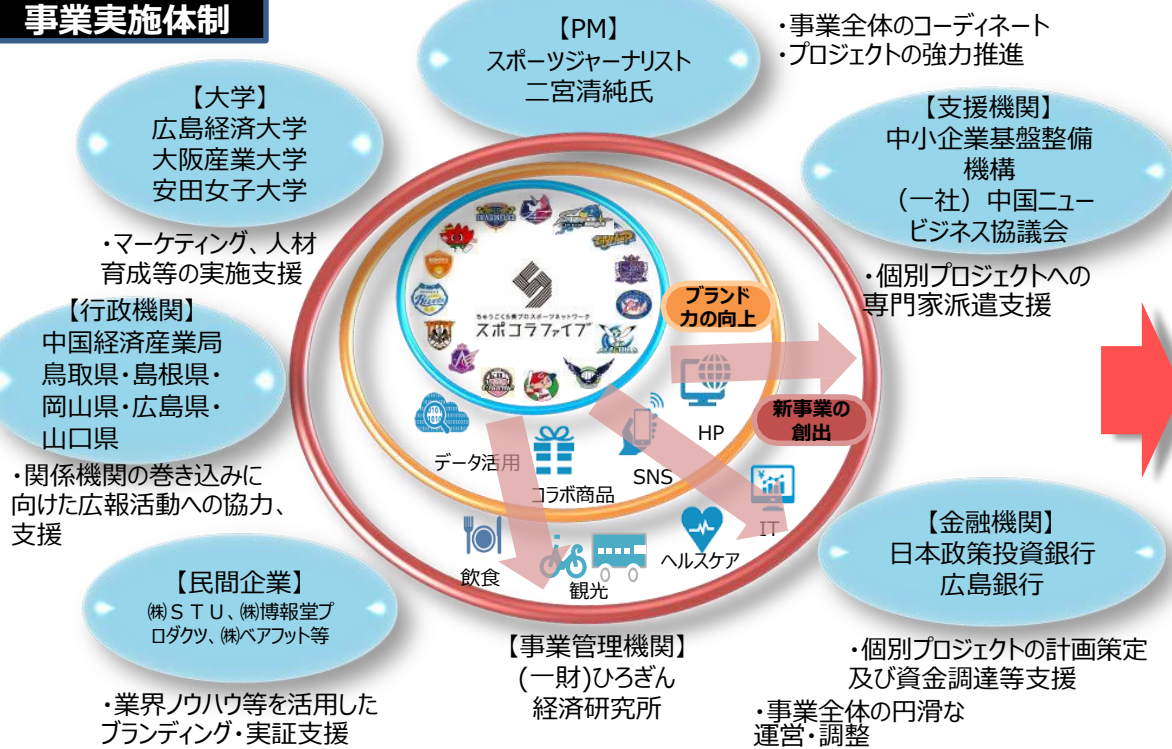
事業概要

中国地域5県のプロスポーツチームを核とした連携ネットワークを活用し、各チームの経営基盤を築くためのブランド力の向上支援並びに各チームと異業種企業が連携した新事業を生み出すための環境づくり及び具体的事例の輩出支援を2本柱とした支援により、中国地域における厚みのある「スポーツ関連産業」の創出を推進する。

ポテンシャル (強み)

- 全国的な知名度を有するJリーグサンフレッチェ広島など、各県で圧倒的な人気を有する中国地域の17プロスポーツチームが全国で初めて地域、競技の枠を越えて連携。将来的な横展開(ロールモデル化)も視野。
- 中国5県自治体、複数大学、アイドルグループSTU48を運営する(株)STU、日本政策投資銀行など産学官金の分野の支援機関ネットワークを活用+他産業の専門家等のネットワークを持つ支援機関を追加して強化。
- 合計300万人以上の観客動員力を活用したプロモーションや中国地域の高いスポーツ市場(約3,000億円)。

事業実施体制



取組内容

① 新事業創出のための取組

- 異業種企業呼び込みのためのシンポジウム開催
- ニーズ・シーズ発信会開催によるマッチング支援
- モデル事業案件(ロールモデル案件)の実証支援
- メディア向け成果発表会の開催

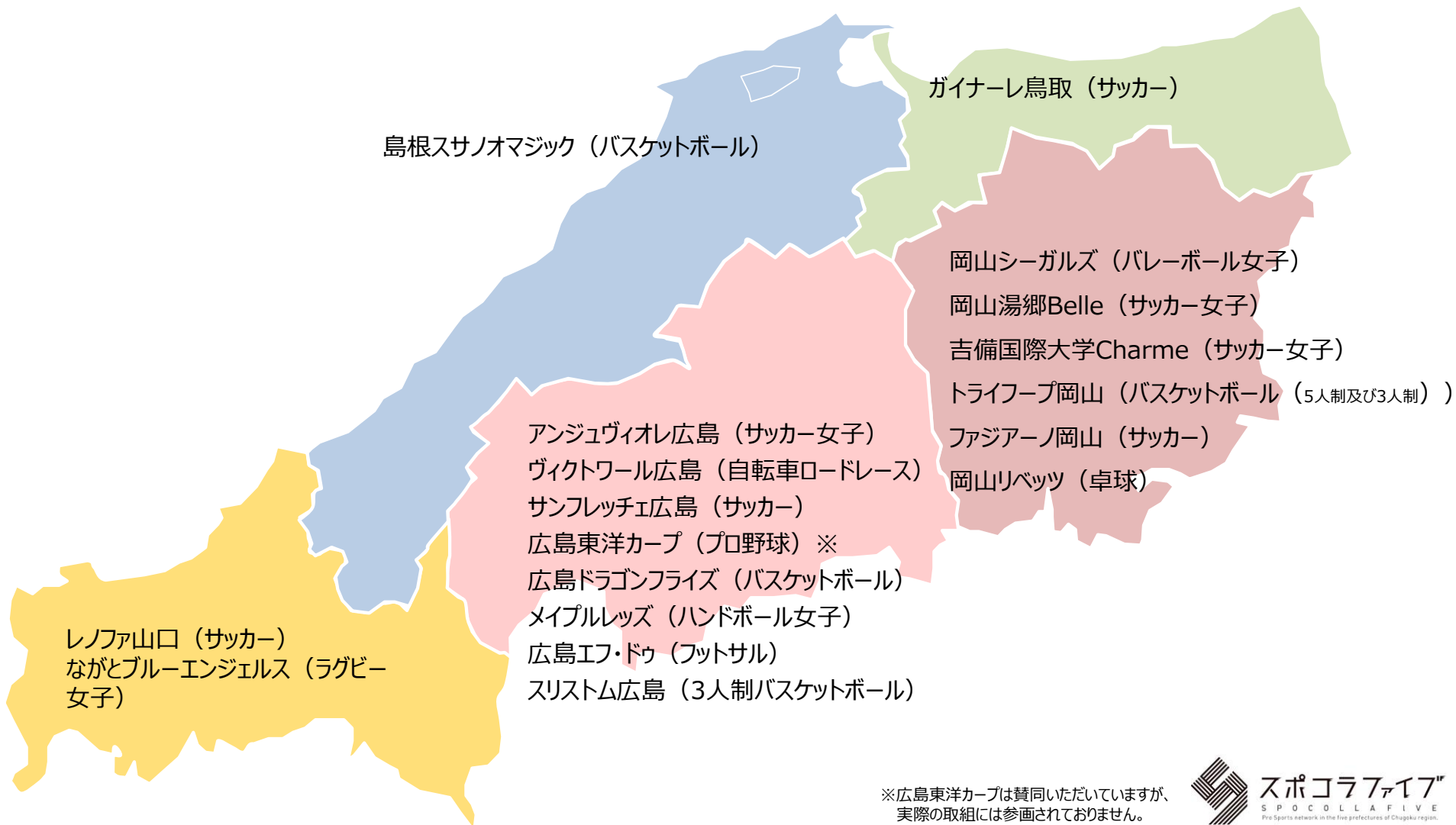
② ブランド力向上のための取組

- HP、SNSを活用したオリジナルコンテンツの情報発信
- 電子データを活用した集客実証
- マツダスタジアムなど大型集客施設における情報発信
- コラボ商品の検討



コラボタオルの制作

○スポコラファイブに賛同いただいているプロスポーツ団体一覧（18チーム）



※広島東洋カープは賛同いただいておりますが、
実際の取組には参画されておりません。

○スポコラファイブの取組状況（シンポジウムの開催）

- スポーツチームと異業種企業の連携による新ビジネス創出及び関係機関の連携を強化することを目的に、「中国地域スポーツ関連ビジネス創出シンポジウム」を開催（9月5日、参加者約200名）。
- シンポジウムにおいては、日本トップリーグ連携機構代表理事会長の川淵三郎氏による基調講演のほか、スポーツジャーナリスト二宮清純氏をモデレーターとするスポーツビジネスに関するトークセッションを実施。また、川淵三郎氏がスポコラファイブの名誉顧問に就任することも発表。



基調講演

日本トップリーグ
連携機構
代表理事会長
日本サッカー協会
相談役
川淵 三郎氏

トークセッション

(モデレーター)
スポーツ
ジャーナリスト
二宮 清純氏

SPORTS
×
異業種企業
||
新ビジネスの創出！

9月5日
開催
参加無料

経営者等
150人
限定

**スポコラファイブ
中国地域スポーツ関連
ビジネス創出シンポジウム**
場所：広島県立美術館 地下講堂

「スポコラファイブ」は、プロスポーツチームを核とし、中国地域におけるスポーツ関連産業を創出することを目的とする、地域や競技の枠を越えた全国初の取組です。

本シンポジウムは、スポーツチームと異業種企業の連携による新ビジネスの創出及び関係機関の連携を強化することを目的に開催します。



川淵三郎氏基調講演



川淵三郎氏名誉顧問委嘱状の交付



スポーツチーム関係者との記念写真



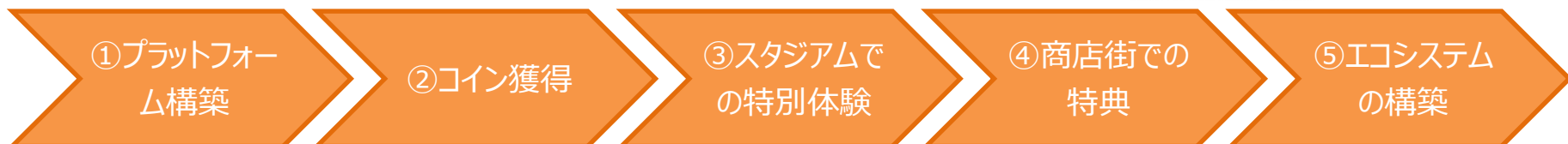
トークセッション（会場全体図）

○スポコラファイブの取組状況（サンフレッチェコインの実証）

- サンフレッチェコインとは、「サンフレッチェ広島」×「IT企業のNEC」×「商店街の紙屋町シャレオ」が連携した、サポーターや市民の応援を地域活性化に繋げる新しいポイント制度のこと。
- 11月4日～12月7日までの約1ヶ月間、紙屋町シャレオ地下街及び周辺施設において、飲食や買い物等を行うことでコインを貯め、抽選により豪華景品が当たる実証実験を行ったところであり、ある飲食店では実証実験開始前に比べ売上1.5倍に増加するなど、一定の成果。今後は実証実験結果を踏まえて実用化を目指す。



＜プラットフォームの流れ＞

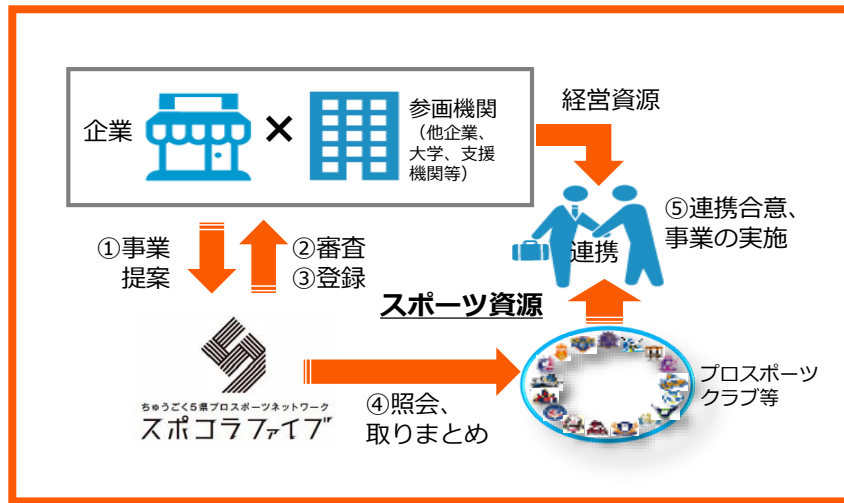


- ✓ 店舗で飲食や購入等をするすると貯まるサンフレッチェコインのプラットフォームを構築
- ✓ 店舗は地域の商店街を想定 ✓ 商店街内での日々の買い物、飲食でコインが貯まり、コインの枚数によりランクがアップ
- ✓ ランクに応じてチケットと交換したり、スタジアムにおいて個人宛メッセージ等の特別な体験
- ✓ スタジアムで観戦することで、普段の生活で特典(商店街店舗での優待等)が得られる
- ✓ 店舗で優待等を得ることで、再度コインが貯まり、スタジアムで観戦して・・・というエコシステムが構築され、経済活性化に繋げる

○スポコラファイブの取組状況（スポーツ新連携パートナーシップ制度）

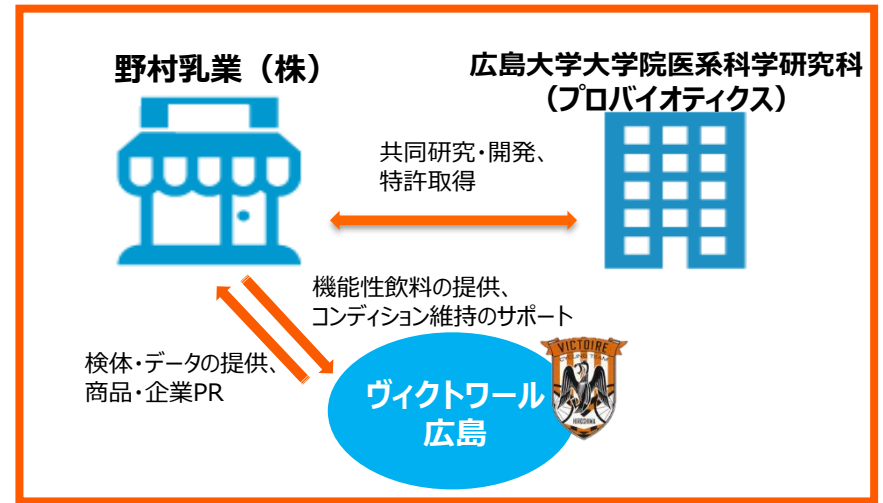
- スポーツの成長産業化への基盤形成に向けて、複数分野の企業等と中国地域のプロスポーツクラブ等が連携した上で、新商品・サービス検証・開発、販路拡大等への取組を円滑に行う制度を創設。
- 従来のプロスポーツクラブ等と企業による「スポンサーシップ」の関係ではなく、両者が「パートナーシップ」の関係により協力してスポーツ資源を活用した新しい事業等に取り組むことで、地域や社会の課題等の解決に繋がる基盤を提供。

【パートナーシップ制度のイメージ】



地域住民など ↓
スポーツ資源を活用した新商品・サービスの提供等

【第一号案件】（野村乳業(株)×ヴィクトワール広島）令和2年1月30日発表



↓
健康増進の実現

【制度メリット】

企業	参画機関	プロスポーツクラブ等	地域住民・消費者等
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活用による新ビジネス参入 ・地域の象徴であるスポーツを通じた地域貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・保有シーズの事業化に向けた検証 ・多様な形態でのテストマーケティング 販路開拓等 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンサーシップ、ライセンス以外からの収益 ・チーム・選手、スタッフ等のブランド力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来にない商品・サービス・イベントの体験 ・クラブを通じた地域貢献活動への参加

(参考) スポコラファイブからの派生事業【民間の自主事業】

- スポコラファイブにおいてHP,SNS等のアドバイザーを務めている(株)チーム・エムツーが、スポーツチームの連携の形を明示し、ファン同士の交流の起爆剤等を目的として、広島市の中心街にスポーツを中心に広く「健康・体づくり・チームとファン交流」を推進する18チームのコラボレーション拠点を設置し、各チームのファン交流と情報発信の拠点としている。



- ①ユーザー・ファン調査・プロモーション
- ②各チームのスポンサー企業の協賛広告・交流企画、
- ③ファン交流・創造のための各種イベント企画、④EC連動型オリジナルサイト運営、⑤店舗運営型収入

・健康志向の一般客
・スポーツをする子供を持つ家庭
・その他
(目的要因)



店名：SPカフェ&バー
場所：中区三川町4-17
サンコウビル1階
コンセプト：スポーツで人と人をつなぐ
10/5 (土) オープン!!



近隣のオフィス・大学キャンパス・買い物客等
(地理的要因)

18プロチームの既存ファン (直接関係者層)

18プロチームのスポンサー企業関係者・社員等